

宝生会 月並能

平成三十年十一月十一日(日)
午後二時始

演目の解説

能「野宮」(ののみや)

嵯峨野の野宮を訪ねた僧が、光源氏と六条御息所の事を懐かしんでいると、一人の女が現れ、今日は昔源氏が初めて御息所を訪ねた大事な日であるから、立ち去るようにとたしなめます。女が持つ榊の枝を見て僧が二人の歌のやり取りを思い出して言葉かけると、女は光源氏と六条御息所の在りし昔を詳しく語り、御息所の幽霊である事を明かして消え失せますが、その夜再び美しい姿となって現れると、車争いの有様を見せ、舞を舞い、執心の車に乗って去って行きます。

狂言「宗八」(そうはち)

料理人お抱えの高札をみて応募採用された二人のうち、宗八は、元は僧侶で、嫌気がさして料理人に、もう一人は、元は料理人で、にわか坊主になった者でした。主人に命じられて宗八は料理、にわか坊主は経を読むことになりましたが、どんな結果になるやら。一寸ややこしくてうまく解説ができない、アベコベ狂言。

能「黒塚」(くろづか)

那智の東光坊の祐慶と連れは、陸奥安達原で行き暮れてしまい、僅かな火の光を頼りに一人の老女の住む家を訪ねる。宿を借りることになった祐慶は見慣れぬ物を見、女に尋ねると女は「わくかせ輪」と答えて糸を紡ぎながら自らの生涯を嘆きまです。なんとなく不気味な女は夜寒に薪を採りに山に行くが、留守に閨を覗くと言う。禁を破った能力が閨を覗いてしまい、祐慶達も恐ろしくなつて逃げ出すと、裏切られた哀しみに鬼となった女が追いかけて来ます。女の業と悲しみを描く秋の名曲。

次回予告

平成三十年十二月九日(日)
午後一時始

乱	鉢	雨
和合	木	月
佐野	田崎	朝倉
佐野	隆三	俊樹
玄宜	弘宜	

14:00

野宮

シテ東川 光夫

間 三宅 右矩

ワキ殿田 謙吉

大鼓 佃 良勝
小鼓 幸 信吾

笛 一噌 庸二

後見

小林与志郎
今井 泰行

地謡

高橋 憲正
和久 莊太郎
水上 優
大友 順

小倉 敏克
高橋 章
田崎 隆三
大坪喜美雄

16:00

宗八

三宅 近成

前田 晃一
三宅 右近

16:45

黒塚

シテ高橋 亘

間 高澤 祐介

ワキ 館田 善博

大鼓 内田 輝幸
小鼓 野中 正和

太鼓 桜井 均
笛 寺井 義明

後見

宝生 和英
中村孝太郎

地謡

澤田 宏司
小林 晋也
小倉伸二郎
小倉健太郎

金森 秀祥
朝倉 俊樹
金井 雄資
佐野 登

終演予定 午後五時五十分頃

◎入場料
S席 正面 / 8,000円 A席 正面 / 7,000円
B席 脇正面 / 6,000円 C席 中正面 / 5,000円
D席 自由席 / 3,000円
学生割引 全席種1,000割引 ※30歳未満の学生の方

◎チケットお申込先
宝生能楽堂オンラインチケット
<http://www.cnplayguide.com/hosho/>
宝生能楽堂事務局
03-3811-4843(火曜～日曜10時～17時)
カンフェティ (五雲会のみ販売)
0120-240-540(平日10時～18時)
<https://www.confetti-web.com/>



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)